

令和6年度 校内研究について

R6.6
研究主任

学校教育目標

「豊かな心を持ち、自ら学び考え、たくましく生きる五箇の子を育てる」
～やさしく・かしこく・たくましく～



研究主題

伝え合う活動を通して考えを深める児童の育成



【目指す児童像】

○伝え合い学び合う子

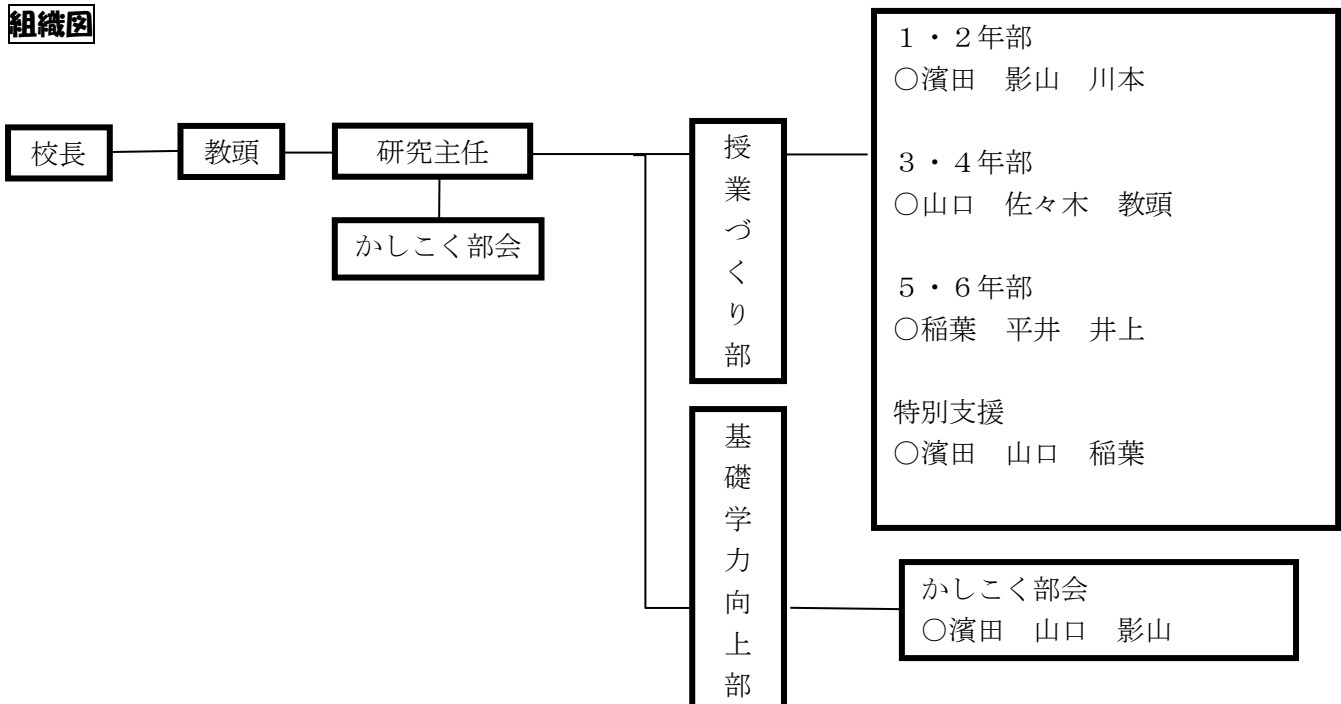
- ・聞き手を意識して自分の考えをわかりやすく伝えることができる子
- ・友達の考えを聞くことにより自分の考えを深めることができる子

本校児童の課題から
伝え合う力・表現する力を伸ばしていきたい。
特に相手の意見を聞いて受け止める能力を育てていきたい。

【研究の仮説】

教師が伝え合いの活動を工夫することで、友達の考えを受容的に聞いたり相手にわかりやすく話そうとし

組織図



研究の計画

- ・2ヵ年計画で行う。
- ・1年目はチャレンジの年、2年目は焦点化の年とする。

研究の内容

授業の流れ

自分の考えをもつ時間→話し合い→振り返り

※子供の考えの深まりが見られるところを公開してもらえたらと思います。

授業づくり部

- ・全担任は1年に1度授業を公開する。
- ・各学年部で代表を決め、研究職員会議で指導案検討を行う授業者を決める。それ以外の授業者は各学年部で指導案の検討を行う。
- ・代表以外の授業も案内は全員に出し、見に行ける時は参観をする。その後の協議も参加できる時は参加する。
- ・各学年部で授業作りに取り組む。(教材研究・指導案作成・模擬授業など) …授業作りの充実
- ・メソッドやルールの掲示

作成物

○指導案 (全体→密案、学年部→略案)

単元名 ねらい 教材観 児童観 指導観 研究との関連 評価 単元計画 本時

○研究の成果と課題

研究授業実施までの過程

- ①授業作り (各学年部)
- ②指導案検討会 (代表者は研究職員会の中で行う。その他方は学年部で行う。)
- ③授業内容伝達、共通理解
- ④研究授業
- ⑤研究協議

基礎学力向上部

- ①学習規律の徹底
- ②基礎学力の定着
- ③家庭学習の充実
- ④学習タイムの改善

令和6年度 五箇小学校 研究年間計画

6月	3～7	指導案検討(4-1)【7日】	
	10～14		
	17～21	全体研究授業(4-1)【18日】	
	24～28		
7月	1～5		
	8～12		
	16～19		
	22～26		
	29～8/2		
8月	5～9		1-1, 2-1は夏休みに入ったら、指導案検討までに学年部で指導案を検討しておく。
	12～16		
	19～23		
	26～30	指導案検討(1-1・2-1)【26日】	
9月	2～6		
	9～13	指導案提出(2-1)【13日まで】	
	17～20	全体研究授業(2-1)【20日未定】	
	24～27	道徳部会授業発表(2-2)(学年部研究授業①)【24日】	
	30～10/4	指導案提出(1-1)【3日まで】	
10月	7～11	全体研究授業(1-1)【10日】	
	14～18	高学年部指導案検討(5-2)	
	21～24	指導案提出(5-2)【22日まで】	
	28～11/1	学年部研究授業②(5-2)【29日】	
11月	5～7		
	11～15	高学年部指導案検討(6-1) 特別支援部指導案検討(3-1)	
	18～22	研究職員会議【19日】指導案検討(6-1) 指導案提出(3-1)【22日未定】	
	25～29	学年部研究授業③(3-1)【29日未定】	
12月	1～6		学年部指導案検討(3-2)は1月3日までにしておく。
	9～13		
	16～20	研究職員会議【16日】学習タイムについて	
	23, 24		
1月	8～10	指導案提出(3-2)【7日まで】	
	14～17	学年部研究授業④(3-2)【14日】 指導案提出	
	20～24	全体研究授業(6-1)【21日】	
	28～31		
2月	3～7		↑ 研究のまとめ作成 ↓
	10～14		
	17～21	研究職員会議【16日】学カテストの分析	
	25～28		

3月	3～7	研究職員会議 次年度の取り組み
	10～14	
	17～21	
	24	

○学年部の指導案検討は、その週の中で都合のいい日を設定して下さい。事務所への指導案提出日が一週間前なので、そこから計算して設定しますので、それより前の週に行っても大丈夫です。

○指導案を作る際には指導主事に相談することができます。メールや電話での相談でも大丈夫です。日程の調節は各自で行ってください。

○完成版の指導案ができたなら、管理職、研究主任に一部ずつ渡してください。